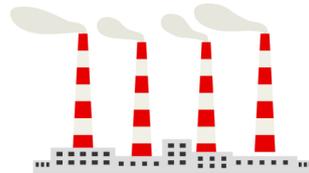


街でみかけるあんなもの、こんなもの…普段何気なく使っている物や、あまり馴染みはないけれど、私たちの日常生活に欠かせないものに、実はすごい仕掛けがあったりします。

思わず「へえ！」と声が出てしまいそうな、物事に関する巧妙な仕組みが載っている本をご紹介します。

小さなことからコツコツと…?!



「メガ! 巨大技術の現場へ、ゴー」

成毛眞／著 新潮社

メガトン級の桁違いなものは、緻密な仕組みで作られている…地下を約8.4キロ掘っても誤差は約数ミリという首都高速の地下網を作り上げる精密な仕事ぶりや、どんな紙でも精緻にきれいにつくる製紙工場の話など、著者が直接14の現場へ赴き写真を交えて詳しく解説しています。

巻末には「桁違いになるためのブックガイド」や「さらに桁違いになるための見学リスト」も載っていますので、お見逃しなく。

「すぐおいしい!」の舞台裏

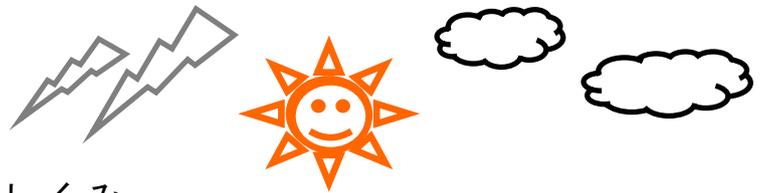


「インスタントラーメンのすべて ー日本が生んだ世界食!ー」

日本即席食品工業協会／監修 日本食糧新聞社

もはや日本人の食生活になくてはならない存在とも言える、インスタントラーメン。熱湯を入れて数分待つだけで、なぜ美味しいラーメンが食べられるのでしょうか? 即席めんの種類、材料、製造方法から、カップラーメンの容器や梱包の仕方について、費用対効果を最大限に高めるためのすごいしくみについて詳しく知ることができる1冊です。

## 魔訶不思議な天気の世界



「面白いほどよくわかる気象のしくみ

—風、雲、雨、雪…魔訶不思議な天気の世界—

大宮信光／著 日本文芸社

夏はいつから始まるのだろうか？風はどうして吹くのだろうか？雲や竜巻はなぜできるのか？なんとなく分かりそうですが、言葉では上手に説明することが難しい天気まつわるしくみについて、科学ジャーナリストの著者が丁寧に分かりやすく解説してくれます。気象のしくみが分かれば、外出がさらに楽しめそうですね。

## 何でもくっつきます



「接着の科学」

菅野照造／監修

堀井真／監修

高性能接着研究会／編著

日刊工業新聞社

モノとモノをくっつけるのに、「ご飯粒」を潰してくっつける人はもはやいないでしょう。接着するためのモノは、用途によって多種多様に出回っています。そして私たちは当たり前のようにそれらのモノを用いて接着という行為を行うようになっていきます。では、「なぜ」モノとモノがくっつくのでしょうか？

本書では、諸説ある接着剤のメカニズムの他、ビルの窓ガラスや歯科用接着剤、医療用の瞬間接着剤など、特殊な接着剤の話、接着剤の剥がし方までもご紹介しています。

## 小さいけれど侮れません



「イラストでわかる微生物学超入門 —病原微生物の感染のしくみ—

齋藤光正／著 南山堂

ピロリ菌、人食いバクテリア、ノロウイルス、そしてインフルエンザ…私たちは様々な病原微生物たちの驚異にさらされています。これらの微生物や感染症のことについてよく知っているということは、病気を未然に防ぐ有効な手立てと言えるでしょう。微生物たちのことを親しみをもって学べるよう、イラストを交えてわかりやすく説明がされている1冊です。あなたの健康づくりにぜひお役立てください。